



# 長谷エコーポレーションが推進するオープンイノベーションによるICT活用 RFID(電子タグ)を用いた建設部材の一元管理の実証を開始

2018年10月5日

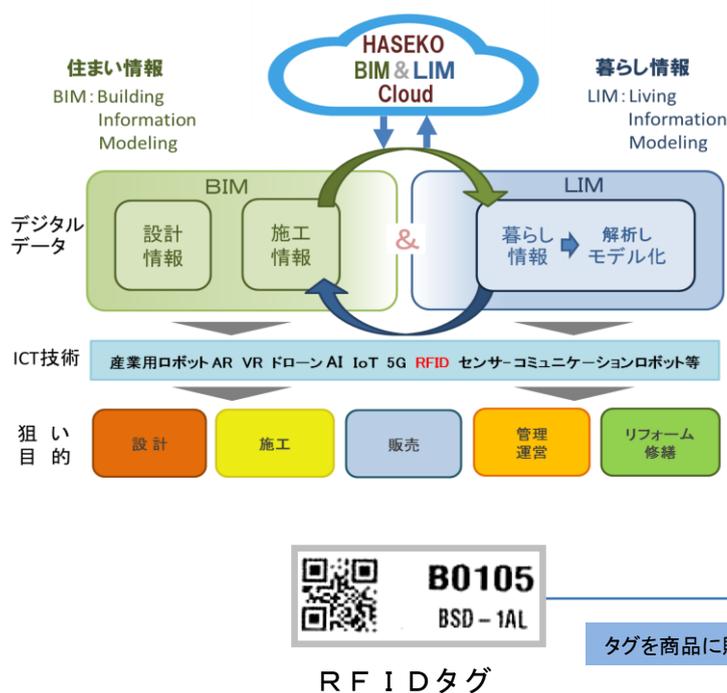
不二サッシ株式会社（本社：神奈川県川崎市、社長：吉田勉）は、株式会社長谷エコーポレーション（本社：東京都港区、社長：辻範明）が実証を開始したICT技術を活用した「RFID（電子タグ）」<sup>\*1</sup>を用いた建設部材の一元管理を、「オープンイノベーションパートナー」として自社商品の生産及び施工で実証を開始します。

国内において、生産コストは労働力不足により材料、輸送と様々な面で絡み合い上昇しています。これに対して、ICT技術を社内の既存システムに組み込み、有効性について検証を推進していきます。

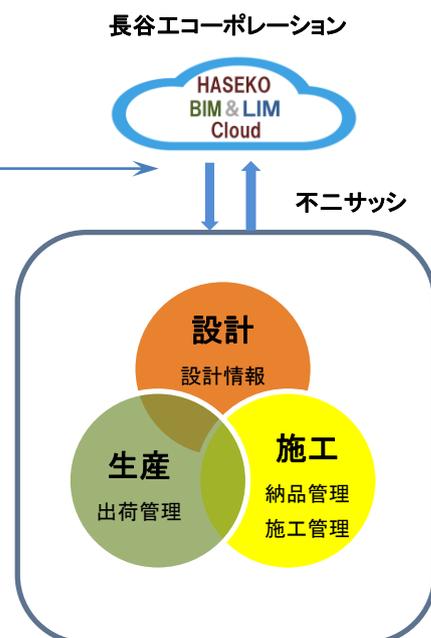
<sup>\*1</sup> Radio Frequency Identification；無線を利用して非接触でデータを読み書きする自動認識技術を用いたタグ

今回の検証は株式会社長谷エコーポレーションが推進している「長谷工版BIM」<sup>\*2</sup>への組み込みにより両者間の生産効率向上への相乗効果が期待されます。

<sup>\*2</sup> BIMの特徴である連動性・可視性・一元性に加え、長谷エコーポレーションの設計・施工のノウハウを組み込むことで設計品質と生産効率を向上



- ・ 製品固有のIDをRFIDタグリーダーライターにより記録
- ・ 記録した情報は、無線通信回線によりクラウド上のデータベースで一元管理



オープンイノベーションの概念

▼ お問い合わせ